

東京都退職校長会

# 会報



発行所 東京都退職校長会  
 発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日本退公連・鈴木共同ビル5F  
 電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

### 1. 創立70周年を迎える

来年の5月16日に創立70周年記念式典を迎える。役員・関係者の努力が実り、白羽の矢が見事の中、幸運にも新たな開催会場に「調布市文化会館たづくり」が決定した。天を味方に意を強くし、早々に3つの実行委員会組織が発足した。あと一年を見据え、精鋭の委員諸氏が式典準備に勢いづいている。また、創立70周年を好機にと協賛金構想が新たに計画された。明けて草木が芽ぶき、山が笑う明るい



満を持して躍動する組織、その先に  
 創立70周年が待つ——回顧と前進を誓いつつ——  
 東京都退職校長会会長 多田 丈夫

5月に晴れの祝賀の時が見事に花開くことを期待している。

### 2. 都教育長を表敬訪問

時は巡り、春に感じる哀愁をはねのけるかのように、爽やかに浜 佳葉子東京都教育長とお会いできた。我々の歴史ある組織の存在とこれまでの実績をアピールするに心地よい時間でもあった。都の教育課題と真剣に向き合い、元校長としての才知と経験を生かし、都民の期待に応え、全都の学校や地域社会に貢献する奥行き深い都内唯一

の組織を理解していただいた。都庁第二庁舎16階の窓から富士を仰ぎつつ、教育長のご就任を祝うに相応しい5月17日の表敬訪問だった。

### 3. 支部総会の再開を祝う

待ち焦がれていた定期総会・会員研修会が終わった。また、コロナ禍での苦悩の時間から少しく解放され、25支部総会が再開している。誠に、有り難い。3年間の鬱憤を晴らし、一日も早い日常を取り戻そうとの各支部長の並々ならぬ決意が伺え

### 満を持して躍動する組織、その先に

創立70周年が待つ——回顧と前進を誓いつつ——

東京都退職校長会会長 多田 丈夫

た。訪れたどの支部も工夫を凝らし、久々に一堂に会した喜びで会場に熱気が漂っていた。さて、会員増強プロジェクト・チームから今年109人の新入会員を迎えたと聞いた。本会の目的に適った明るく楽しい会の創造と各支部のさらなる発展を強く願っている。

### 4. 都の教員不足に協力を

今、文科省の全国調査で公立小中高・特別支援学校の教員が2,500人以上が不足し、現場の事態は深刻だという。理由

は、育児休暇の取得、病気による休職、特別支援学級の増加等にあるとのこと。都も例外ではないようで、この5月に都人事部選考課から「臨時的任用教員の募集」について、本会に緊急の協力要請があった。事ここに及んで協力を惜しまないと回答した。この状況が長く続けば、子ども達の学びや成長への影響が懸念される。困難な課題も横たわっているが、まずは、支部長を介して呼応を始めた。会員の全面的な協力をお願いしたい。ただ、緊急的な対策に留まらず、抜本的な対策を同時に進めることが重要ではないのか。今後を注視したい。

### 主な記事

- P1 巻頭言 会長挨拶
- P2 定期総会 会長挨拶、定期総会の開催に寄せて
- P3 令和三年度 事業報告 要旨
- P3 令和四年度 事業計画 要旨
- P4 第1回会員研修会報告、総会関係記事のホームページ掲載について
- P5 令和4年春の叙勲受章会員  
高齢者叙勲受章会員
- P6 本部役員・事務局長、支部長一覧  
コラム 創立70周年に向けて
- P7 支部だより、新入会員の声
- P8 物故者、応募コーナー、編集後記

## 令和四年度 定期総会

日時 令和4年5月16日  
午後1時30分開会  
会場 都立多摩図書館

定期総会・会員研修会を  
終えて

## 東京都退職校長会

会長 多田 丈夫

立夏を過ぎ、爽やかな風が光る5月16日。3年振りに第69回定期総会・会員研修会が都立多摩図書館で開催された。コロナ禍のため、本会と深い関係のある全国連合退職校長会会長

入子祐三様をお招きした。また、春と秋の叙勲の栄誉と今年、米寿と喜寿を迎えられた先生方を書面で祝福した。総会では、80・4%の役員・関係者が出席し、予定した全ての議事が承認された。特に、来年の5月に予定している創立70周年記念式典の開催と成功を全員で誓った。また、待望の会員研修会では、校長退職後、国際理解教育に打ち込んできた講師の岩谷榮子先生の輝かしい足跡を拝聴した。秘境の地ネパールに身を置き、女性の社会的自立のモデルとなる「女性教員養成システムづくり」に活躍された先生の教育への情熱と卓越した実行力に

視聴者は心打たれた。ご縁があつて、岩谷榮子先生は、我々の組織の事務局長にご就任いただいた。久々の定期総会が無事終了し、組織は、明日への歩みを始めた。なお、4月付で新しくご着任された東京都教育長 浜 佳葉子様からは、総会への特別玉稿をいただきました。心より感謝いたします。

## 定期総会の開催に寄せて

## 東京都教育委員会

教育長 浜 佳葉子

東京都退職校長会の皆様におかれましては、東京都の教育の充実・発展のため御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍における学校運営も三年目となり、子供たちの学ぶ環境は確実に変わりつつあります。一人一台端末や通信環境が配備され、端末を自宅に持ち帰って宿題に取り組みなど、活用が進んでいます。引き続き、教員の経験知と新しい技術を最適に組み合わせ、子供たちの持つ力を最大限に引き出し、いか

なる時でも学びを止めない取組を進めてまいります。

今後とも、豊かな御経験を生かし、東京都の教育行政に御支援いただければ幸いです。本会の益々の御発展と、皆様方の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 全国連合退職校長会

会長 入子 祐三

コロナウイルス感染防止自粛措置によって、二年余一堂に会することが出来ませんでした。総会のご案内を頂き有難うございました。私にとって懐かしい多摩地区の素晴らしい会場でのご盛会をお祝い申し上げます。

コロナ禍によって、三密を避けた「学習の場」を考える必要に迫られ「対面式学習」の姿が少なくなり「ICT」の定番になりました。

三年かけて機器の整備計画も早まり、「デジタル化」の学習へと急速に展開してしまつたと思います。本当に良かったのでしょうか。「アクティブラーニング」を取り入れた「指導の改善」で見直しの声が聞こえる中、進んでしまった不安を感じています。本会が都教委と連携協力して

進めている事業の充実と発展を期待しご祈念申しあげ、お祝いのことばに代えさせて頂きます。

東京都国公立幼稚園・こども園長会 会長 高橋 由美子



令和四年度定期総会のご盛会をお祝い申し上げます。

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」(答申)や、「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」では、幼児教育の質の重要性が明示されました。質の高い幼児教育の推進は、本会が七十年以上もの歴史の中で、研鑽に努め実践を積み重ねてきたものです。しかし、ここ数年、国公立幼稚園・こども園の園児数の激減が課題となっています。地域の全ての子どもに質の高い幼児教育を提供することは、公立園の使命です。諸先輩方が培ってきた知見から学び、園児数が減少する中でも公立園の存在意義をしっかりと発信してまいります。東京都退職校長会の皆様には、今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

**令和三年度  
事業報告 要旨**

一 活動方針

a Change of Pace

―流れを変える時だ―  
未加入者への勧誘と校長退職者の全員加入目標達成への努力。財政再建への内部改革の実現。現職園長・校長会との連携。各支部間交流の活性化。

本会の目標「親睦と互助」「生涯学習の推進」「教育支援活動」の実現を図る会の運営を推進。

二 各部・委員会の活動報告

(1) 【総務部】業務全体の円滑な運営・管理と各部、各組織間の連絡、調整。新会員名簿の発行。創立70周年記念事業の基本構想検討と準備委員会組織編成。

(2) 【会計部】各部、各委員会等と連携し円滑な運営に配慮。会員数減少に伴う収入減を受けた予算編成と執行により支出の抑制を実施。

(3) 【広報部】会報年間四回発行を維持。コロナ禍の中、メール中心の編集校正作業により、会報発行費用を大幅に削減。

(4) 【福利厚生部】叙勲・長寿者、物故者等の情報収集・整理。会員の慶弔に関する正確な事務処理を実施。

(5) 【生涯学習部】年間二回の会員研修会を企画。コロナ禍で一回のみ実施。クラブ委員長

の協力を得て会報で活動状況を紹介。

(6) 【情報推進部】見やすいホームページ作成と更新作業。ZOOM活用の正副会長会、

運営委員会に協力。

(7) 【特別委員会】〔会員増強プロジェクト・チーム〕

会員増強に資する情報収集と管理を実施。都公立全校種の園・校長会に会報を配布。

(8) 【教育関係機関・団体との連携】東京都教育委員会、五団

体の校長会、全国連合退職校長会、関東甲信越地区退職校長会との連携強化。

**令和四年度  
事業計画 要旨**

一 活動方針

Step for Step

―同じ歩調で、着実に―  
全員加入への計画的な推進。魅力ある会務運営。心に残り、未来を託す喜びの創立70周年記念式典への準備。

二 各部・委員会の活動計画

(1) 【総務部】業務全体の円滑な運営管理、各組織間の連絡調整。手作りの会員名簿の発行。創立70周年記念式典挙行準備。

(2) 【会計部】各部、各委員会と連携し円滑な運営予算執行。会員減少を受け、支出の抑制。

(3) 【広報部】本部と支部及び会員相互の連携を果たす会報発行、年間四回。創立70周年関係記事の掲載。

(4) 【福利厚生部】叙勲・長寿者、物故者の情報収集、整理、保管。新年懇親会等の企画・運営。

(5) 【生涯学習部】年二回の会員

研修会を企画・運営。各クラブの活性化に努める。

(6) 【情報推進部】ホームページの更新を実施。ZOOMによる正副会長会、運営委員会の実施に加え、支部長会、プロック長会、各支部でもWEB会議を導入。

(7) 【特別委員会】〔会員増強プロジェクト・チーム〕各支部と連携した、会員増強の推進。都公立全校種の園・校長会に会報配布。

(8) 【教育関係機関・団体との連携】東京都教育委員会、五団体の校長会、全国連合退職校長会との教育懇談会を開催。関東甲信越地区退職校長会との連携強化。

付記

【創立70周年記念事業実行委員会】次の三委員会を設置し活動する。

- 1 記念式典委員会
- 2 記念誌作成委員会
- 3 記念特別事業委員会

**第1回会員研修会報告**  
**演題「ネパールの女子教育に携わって」**  
 講師 岩谷榮子先生  
 日時 令和4年5月16日  
 午後3時40分開始  
 会場 都立多摩図書館

多田丈夫会長による講師紹介後、講演に入る。

1. ネパールとの出会い
2. ネパール連邦民主共和国
3. ネパールの教育
4. NPO法人「日本ネパール女性教育協会」
5. JICA草の根技術協力事業

の5つについて話を進められた。校長現職時に国際理解教育に取り組むことになった。PTA役員にネパールを紹介していただき、春休みに研究主任と一緒に、実研修でネパールに行く。そこで、ネパールの教育の貧困、特に女子教育の遅れに大きな驚きを感じた。平成12年からネパールの女子教育の支援を始める。

ネパールの国の概要説明。(略)

**教育の概要について**

- ① 学校制度 1～8年生(基礎教育)、9～12年生(中等教育)、大学(高等教育、学士コース以上)
- ② 義務教育期間 5歳～25歳
- ③ 学校年度 4月～3月

- ④ 学期制 なし
- ⑤ 就学年齢基準日 満5歳以上で、小学校に入学できる。43歳で入学した人もいた。
- ⑥ 教育課程 基礎教育8年(1～8年無償義務教育) 中等教育4年(9～12年)
- ⑦ 全国統一試験 10年生と12年生終了時
- ⑧ 就学前教育 都市部では保育園・幼稚園教育は盛ん
- ⑨ 義務教育の学校段階種類および就学状況 小学校1～5年生(5～9歳) 就学率97.2%(2016年) 義務教育終了まで継続して学校へ通う子どもは67.5% ドロップアウトが多い
- ⑩ カリキュラム・教授言語 ネパール語・英語
- ⑪ 義務教育段階の授業料 8年生まで無料。9～10年生は女子及びドリット(最下層)のみ無料
- ⑫ 教科書 8年生まで無料

**NPO法人日本ネパール女性教育協会創設**

ネパール遠隔地の少女への初等教育の普及を目指すために。

- ① 各小学校に少なくとも「二十四の瞳」の大石先生のような女性教員を配置する必要がある。
- ② 日本女子師範学校の経験を活かし、女性の社会的自立のモデルとなるような優れた女性教員養成システムを創る。
- ③ 極西部の女性教員希望者を選考し、学生は、二年間の寮生活しながら教員養成大学で学び教員資格取得の準備をする。

**主な活動**

- ① 100人のおなご先生の養成。
- ② 良い先生になるためのフォローアップ研修の実施。
- ③ 赴任先を訪問して、現状を把握するとともに、卒業生の悩み等相談にのったり、理事さんや教育関係者との連携を密にして、3年後の継続雇用を依頼する。
- ④ JICA草の根技術協力事業として3年間活動した。この後、岩谷先生が撮影された写真(具体的な活動・現地学校での授業の様子や子どもたちの日常の様子等)をもとに説明が続いた。  
(生涯学習部 川和 誠一)

**総会関係記事のホームページ掲載について**

情報推進部担当副会長 福島良樹

令和4年度定期総会に関する記事をホームページに掲載いたしました。ご覧、ご一読いただきたくご案内申し上げます。ご覧いただく方法は以下の通りです。サーバーの検索窓の中に「http://totaikou.jp/」あるいは短縮して「totaikou.jp」または、「都退職校長会」の文字を入力し、その右側にある「検索」ボタンをクリックすると開くことができます。トップページにある「本部ニュース」を開くと見ることができます。

### 令和4年 春の叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。(敬称略)

瑞宝小綬章 (1名)	甲斐 正和 (足立)	黒田健太郎 (西多摩)
小野満禎子 (武蔵野・三鷹)	安藤 正男 (日南)	澁谷 光夫 (千葉中部)
瑞宝双光章 (12名)	増田 和彦 (北多摩北部)	菅谷廉之助 (千葉中部)
高橋 信夫 (品川)	押上 武文 (府中)	岩津 泰彦 (埼玉県)
千葉 泰男 (大田)	宇津木順一 (西多摩)	松澤 宏尚 (神奈川県)

### 高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。(敬称略)

(令和4年4月19日現在 本部に届けがあった方々)

瑞宝小綬章 (1名)	瑞宝双光章 (7名)	黒川 尚子 (江戸川)	高橋 泰介 (埼玉県)
北橋 秀夫 (千葉西部)	廣澤 義夫 (新宿)	土田 芳夫 (日南)	稲田ヤエ子 (神奈川県)
	小嶋 通男 (世田谷)	手塚宇三郎 (埼玉県)	

(福利厚生部長 増田 稔)

## 保障が充実。 なのに、ムダがない アフラックの医療保険。

ライフステージの変化に合わせて、  
その時々で必要な保障を変えられるため、  
ムダなく最適な保障を備えていただけます。



**No.1** がん保険  
医療保険  
保有契約件数  
令和元年版 インシュアランス生命保険統計号  
約**4世帯に1世帯**がアフラックの保険に加入  
(詳細はホームページをご確認ください)



〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

**三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社**

☎0120-357-212 FAX03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

**Affac**

アフラック

東京第一法人営業部  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井ビル19階  
Tel.03-3344-1446

AFツール-2020-0347-2101001 10月22日

令和4年度 本部役員・事務局長

会長	多田 丈夫 (八王子)	会務の統括・代表	監事	前田 烈 (千葉中)
副会長	桐谷 澄男 (千葉南)	総務部担当	”	佐治 恒孝 (神奈川県)
”	藤崎 武利 (千葉南)	生涯学習部担当	”	落合 勇 (埼玉県)
”	角田美枝子 (品川)	広報部担当		
”	小久保正己 (埼玉県)	会計部担当	事務局長	岩谷 榮子 (千代田・中央)
”	高橋 利夫 (江東)	福利厚生部担当		
”	福島 良樹 (八王子)	情報推進部担当		

令和4年度 支部長一覧

(令和4年6月13日現在)

1	千代田・中央	鈴木 正孝	5	豊	島	野村	清	3	府調	中布	保坂	昌代
◎1	港	野々山	5	北	北	土幸庭	壽子	3	3	江	榎本	勉
1	新	佐藤	◎5	荒	川	桜	清	3	調	布	向井	努
1	文	小林	5	板	橋	条	幸	5	狛	江	浅見	次
1	台	村山	5	練	馬	齋	子	5	北	多	野	扶
1	墨	加藤	◎2	足	立	伊藤	諭	◎4	西	摩	村	久
1	江	高橋	2	葛	飾	沼田	誠	1	大	宅	田	公
1	品	名倉	2	江	川	柴	八	1	三	南	浅	洋
3	目	高橋	2	八	子	辻	正	2	千	葉	宮	一
3	大	直井	4	町	田	新保	宗	2	千	中	菅	助
◎3	世	鈴木	4	日	南	岸	二	2	千	西	齋	二
3	田	大沼	4	武	野	本	博	2	千	北	藤	郎
1	洪	中井	3	蔵	三	田	浩	5	千	玉	嶋	吉
4	中	口	5	北	多	鹿	政	4	神	川	山	夫
4	杉	並	4	北	多	部	克			川	川	博

1~5 ブロック番号 ◎ブロック長

コラム 創立70周年に向けて

記念式典委員会委員長

宇津木順一

前年度二回の準備委員会を経て、新年度に入り四月二十日に第一回記念式典委員会を行い委員会がスタートしました。記念式典まで丁度一年、委員一同鋭意準備を進めてまいります。ご協力をお願いいたします。

現在、記念式典の内容、進め方について検討しています。前回までの形を基本にしながら、今日の状況を踏まえて、何点か改めさせていただくことにしました。

(一)従来形の追悼式は行わず、追悼の儀として、式典に先立って、式典会場で式典出席者全員で行う。(二)今日の状況を考慮し、祝賀会は行わず記念講演とする。(三)記念式典の趣旨から式典次第の中に、会員一同で本会の活動を振り返る場面を加える。

以上のような変更を加えながら、簡素にして印象深い式典にしたいと考えています。

記念誌作成委員会委員長

伊地敦子

待ちに待った創立七十周年記念式典の会場抽選がめでたく当選し「調布市文化会館たづくり」に決定という嬉しいニュースに支部長会の会場では思わず拍手が起こった。会場は喜びに包まれた。会場獲得までには前調布支部長はじめ関係者の大変な努力があり誠に感謝の思いである。

さて記念誌作成委員会も勢いに乗って、委員一同「組織の意志を未来に繋ぐ」ことを目標に、全体構成の検討をしている。

①記念誌目次の検討②式典の記録構成③本部の各部や各委員会の活動④四十一支部から⑤各クラブから⑥地方会員から⑦七十年の足跡と直近の十年⑧資料《関プロ東京大会・人材バンク委員会・採用前研修委員会》等⑨広告等。

なお、これから多くの課題が出てくると思うので、本部や三つの委員会が緊密に連絡を取り、ズーム会議も取り入れながらこまめな情報交換をして進めていきたい。

# 支部だより

コロナ禍の支部活動  
神奈川県前支部長 安藤 正明

私たちは、昨年度もコロナ禍の中で、できる事はしていく、でも無理はしない、という方針で支部活動の運営を進めてきました。そのため、計画を立てておいて、ぎりぎりまで様子を見て、実施するか否かを判断するという方法を取りました。

その結果、昨年度は、地区の活動を四回計画したうち、三回は実施することができました。また、事業部では一日研修旅行を、参加する人数を少なめにして実施しました。

作品展は、コロナに気をつけながら開催することができました。

ただ、新年会は中止しました。クラブ活動は、各クラブの事情で実施するかどうかを決めてもらいました。

このように、コロナ禍でも無理をせず、いくつかの活動を実施していく事ができました。

# 新入会員の声

「よろしくお願ひします」

板橋支部 関本 恵一

退職して早いもので十年が経ちました。当時は雑事に追われていて余裕がなかったことを思い出します。この度、お誘いくださる方がいて加入させていただくことになりました。

昭和五十一年は校内暴力が吹き荒れていました。私の教員生活はそんな中、北区で始まりました。今、その頃のことを考えますとよくやってこられたなと思うのですが、経験を積み重ねられた先生方や仲間の教えや支えがあつてこそそのことだと痛感いたします。おかげさまで三十五年間の務めを全うすることができました。

現在は、大学で教職課程の授業を担当しています。今まで中学校現場で学んできたことを教員を目指す学生に伝えることができれば、少しでも恩返しになるのではないかという思いです。



## ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として  
昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。  
会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応

0120-849-544

フリーダイヤル

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

ホームページ 

本社:東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階 TEL03-3396-7231

(令和4年4月15日届出現在)

物故者		謹んでご逝去を悼み ご冥福をお祈り申し上げます		氏名		年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁										
中溝 忠男	池田 謙治	原 克己	岸 正明	宇佐美博子	辻 喜久子	柳瀬 修	久世 巨克	田口 源豊	浅野 成稔	高木 宇一	館 幸	村上 完司	小松 俊雄	小川 一郎	氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
3.12.17	3.12.13	3.12.11	3.12.9	3.12.9	3.10.15	3.9.26	3.9.19	3.9.19	3.8.29	3.8.2	3.8.2	3.7.11	3.6.2	3.2.24	3.2.24	3.2.24	埼玉県	高	89	95
千葉西部	中野	品川	町田	千葉西部	大田	世田谷	埼玉県	黒	千葉県	神奈川県	埼玉県	埼玉県	神奈川県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	高	89	95	
91	89	89	87	73	90	92	90	92	91	97	96	90	82	89	89	95				
90	19	8	48	89	12	14	93	9	60	106	98	98	108	95						
寺本 達	佐渡 伸二	山本 季子	天野 行男	進藤 弥重	三宅 悦造	嵩森 敏	柴田 泰夫	加島 俊博	内堀 忍	太田 卓蔵	和田 民雄	佐々木立雄	清水 健	和田 弘	菊池 章雄	小野 具彦	日野 秀夫	下河原五郎		
4.4.13	4.4.12	4.4.12	4.4.8	4.4.5	4.3.17	4.3.12	4.3.11	4.3.9	4.3.4	4.3.2	4.2.24	4.2.17	4.2.2	4.1.27	4.1.26	4.1.25	4.1.8	3.12.21		
三宅島	西多摩	江東	西多摩	日南	江東	千葉県	千葉県	八王子	練馬	日南	武蔵野	千葉北部	板橋	練馬	練馬	西多摩	墨田	神奈川県		
97	75	82	94	91	86	95	84	74	92	98	93	81	81	89	82	78	95	93		
83	77	7	79	56	6	61	89	48	44	55	57	91	28	32	35	76	5	103		



(福利厚生部長 増田 稔)

応募コーナー

俳句

寄稿 神奈川県支部 俳句クラブ  
太古より宇宙浮遊す海月かな  
手を合はすこと多かりき八月よ

輝けり汗・涙・感謝の夏五輪  
五つだね十はあるよとトマト摘む  
池田多津美

新米の香り豊かに母の声  
秋寒や布団一枚つけ足すか  
竹澤 正

孫の背が我より伸びて夏休み  
草刈りて紫陽花際立つ散歩道  
菅宮倫代

凍て月や白き眠りの流人墓地  
春風東尋坊の巖を打つ  
平野 稔

紫雲英田の広がる上総古事記の地  
閉じこもる扉た、きし秋の風  
長谷川君子

川柳  
惜別の思いを胸に次の夢  
難問に挑む孫の目澄みいと  
妻の練る濃茶す、り語る午後  
練馬支部 岩田幸彦

短歌  
菊の花握りしままに眠りいる  
かすかにゆるみて掌よりこぼれる  
疲れ果て幼き声の泣きやみて  
涙をためて寝息をたてる  
中野支部 田中弘志

編集後記

卒アルの写真撮影マスク取り初めて知った先生の素顔(高3)  
家の中授業を受ける弟の背後を通る私は忍者(高2)

時計地図写真音楽お財布も気づけばみんなスマホの中に(中2)  
マスク消えみんなのかおが見えるときはなせるのかな今まで通り(中2)

東洋大学主催の短歌コンクール「現代学生百人一首」第35回入選作品が1月に公表されました。先の4首はその中の作品です。中学生、高校生が柔らかな心で「時代」を詠んだ短歌は、大人の視界を広げてくれます。

さて、5月に定期総会と会員研修会が3年振りに開催されました。会報215号で、二つの会の概要をお知らせしています。

総会を経て、創立70周年記念事業の取り組みが、三つの委員会を中心の本格的に始まりました。会報では、記念事業の情報を定期的に発信していきます。

会員みんなが何らかの形で事業に関わり、こぞって創立70周年をお祝いしたいと思います。

(西田敦子)